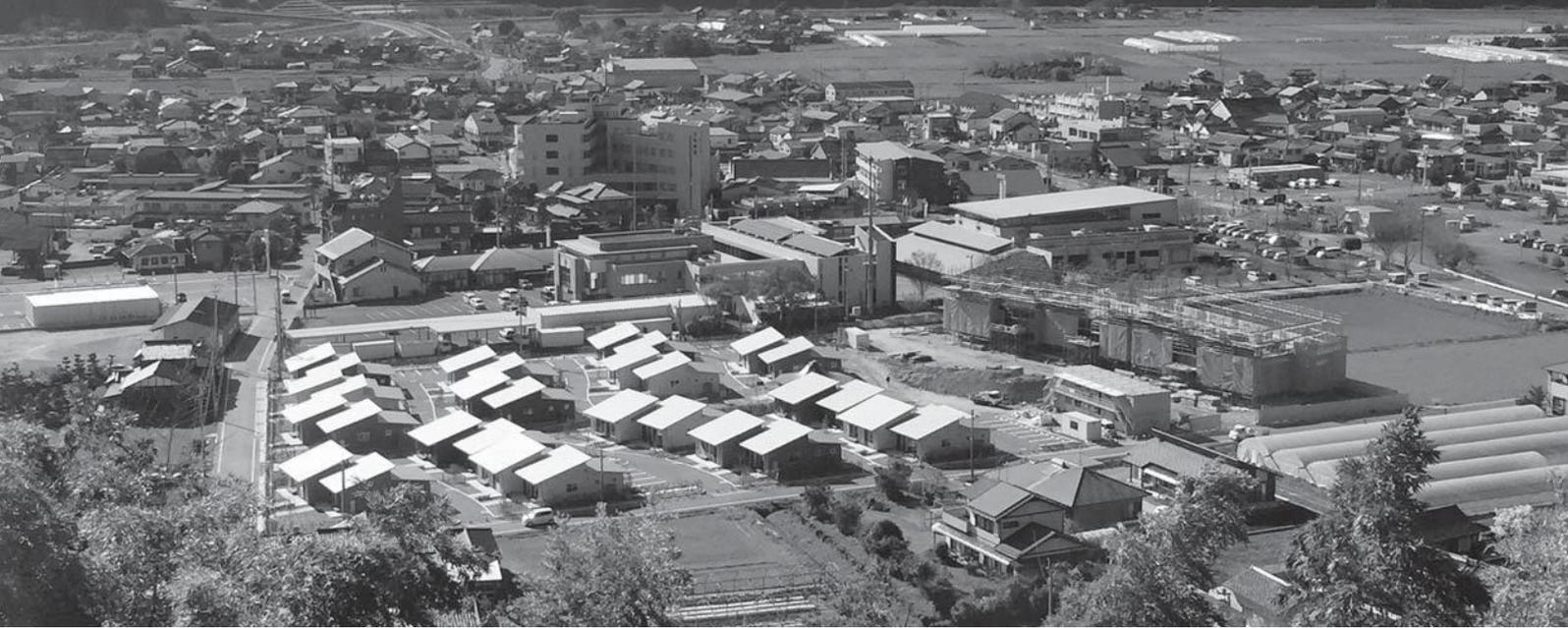


～熊本地震から3年～

未曾有の災害からの復旧・復興への歩み



町内全域が大きな被害を受けた熊本地震から3年が経過しました。町では、熊本地震および集中豪雨で被害を受けた道路や河川、農地などの早期復旧に向けて取り組んできました。

今月号では、被災からの3年を振り返るとともに、これまでの復旧状況や「震災からの創造的復興」を目指す町の復興に向けた取り組みについてご紹介します。

■道路や河川の災害復旧工事のしゅん工率は74・7割

町が管理する道路や河川などの公共土木施設で、国の災害査定を受けた総件数は241件となっています。

通行量の多い路線や通学路などから随時工事発注を行い、平成30年3月時点での発注率は85・0割、しゅん工率は42・1割でしたが、平成31年3月時点での発注率は92・5割、しゅん工率は74・7割となっています。

また、地震後に通行できなかつた府領の緑川サービスエリア付近の府領橋（県の管理）は、3月13日（水）より全面開通しています。

■農業用施設のしゅん工率は100割、農地は77・7割

熊本地震および集中豪雨災害による国の災害査定を受けた農地や農道、林道など、農林業での総件数は、208件となっています。

うち農業関係が162件で、平成30年3月時点での発注率は100割、しゅん工率は28・4割でしたが、平成31年3月時点でのしゅん工率は農業用施設100割、農地77・7割となっています。

林道災害については46件で、平成30年3月時点での発注率は73・9割、しゅん工率は19・6割でしたが、平成31年3月時点での発注

被災からの流れ

- 平成28年4月14日（木）午後9時26分前震発生
- 震災直後に災害対策本部設立
- 指定避難所10カ所を開設
- 同15日（金）午前0時3分甲佐町田口付近を震源とする地震発生
- 中甲橋グリーンパークで災害ごみの受入れ開始
- 同16日（土）午前1時25分本震発生
- 午後4時50分町内全域に避難勧告を発令
- 同21日（火）町生涯学習センターに総合案内窓口を設置
- 同27日（水）上水道全面復旧
- 5月1日（日）支援制度受付用仮設プレハブを庁舎南側に設置
- 同15日（日）白旗仮設団地90戸への入居者募集を開始
- 同16日（月）罹災（りさい）証明書の発行および各種支援制度の受付を開始
- 6月5日（日）白旗仮設団地90戸への入居開始
- 同20日（月）～21日（火）九州豪雨災害発生、指定避難所5カ所を開設
- 7月27日（水）県内で最初に公費解体を開始
- 8月23日（火）第1回甲佐町震災復興計画策定委員会を開催

復興をより加速させ 安心・安全な町へ



甲佐町長 奥名克美

熊本地震から3年にあたり、改めて被災された町民の皆様へ衷心よりお見舞いを申し上げます。

県内で先駆けて策定した「震災復興計画」に基づき、未曾有の震災からの復旧復興にまい進している本町ですが、未だ残る被災の傷あとに胸が痛みます。消防団員やボランティアなどの皆様のご尽力ご支援に励んでいただいた姿を今でも思い返し、皆様からの本町へのご厚情に深く感謝いたします。

復旧の3年で道路などの工事が進み、3地区で整備を進めていた災害公営住宅では入居が開始されました。震災後通行ができなかった田口橋においては本年の夏ごろに工事が完了する見込みとなっております。今後は復興をより加速させ、震災復興の歩みの中で「甲佐町に住んで良かった」と誇りと愛着を抱ける安心安全な町を目指して参ります。

今後も職員の力を結集し、議会の皆様のご理解をいただきながら、信念と情熱を本町の「創生」に注いで参ります。町民の皆様にはまだまだ厳しい中ではありますが、お互いに希望を抱いて歩いていきましょう。

最後に町民の皆様のご健康を願い、ご支援いただいている関係機関の皆様へ改めての感謝を申し上げ、お見舞いのごあいさつといたします。

災害復旧状況一覧

内容	被災状況	復旧状況
公共土木施設	<ul style="list-style-type: none"> ■災害査定件数 241件 【内訳】 ●町道 85路線 192カ所 ●河川 23河川 48カ所 ●橋梁 1橋梁 1カ所 	<ul style="list-style-type: none"> ●町道 82路線184カ所 発注率93.4%、しゅん工率77.2% ●河川 21河川38カ所 発注率79.2%、しゅん工率58.3% ●橋梁 1橋梁 1カ所 発注率100%、しゅん工率0%
農業施設 農地	<ul style="list-style-type: none"> ■災害査定件数 農地99件、農業用施設63件 【内訳】 田77件、畑22件、ため池3件、水路29件、揚水機1件、農道29件、橋梁1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●農地 99件 発注率100%、しゅん工率77.7% ●農業用施設 63件 発注率100%、しゅん工率100%
林道	<ul style="list-style-type: none"> ■災害査定件数 8路線46カ所 	<ul style="list-style-type: none"> ●林道 7路線38カ所 発注率82.6%、しゅん工率60.9%

※平成31年3月7日現在

※発注率、しゅん工率は査定箇所数に対する数値

率が82・6割、しゅん工率が60・9割となっております。

■震災からの「創造的復興」を目指す町の取り組みについて

町では、早期の復旧・復興を目指し「町震災復興計画」に基づき平成30年度までの3年間で復旧に早急に取り組んできました。平成31年度は同計画において復興の後期となることから、今後も本町の創造的な復興を目指し取り組みます。

公共土木施設については、3月現在、約40件が未完了となっておりますが、2020年3月末までにすべての工事が完了する予定です。現在通行のできない田口橋（県の管理）については、夏ごろに工事を完了の予定となっております。

農業関係については、平成31年

度中にすべての工事が完了する予定です。今後も農業経営の早期回復および農業のさらなる復興を図ります。

■災害公営住宅の入居開始、子育て支援住宅は9月入居開始予定

住宅関係については、甲佐地区、乙女地区、白旗地区に合計52戸の「災害公営住宅」の建設を進め、乙女・白旗の2地区は2月から入居を開始しました。甲佐地区は4月から入居開始の予定です。

また、甲佐地区には震災からの創造的復興や本町の活性化のシンボルとして、災害公営住宅のほか、子育て支援住宅および防災公園の一体的な整備を実施しており、子育て支援住宅は9月の入居開始を目指しています。

- 9月16日（金）町災害対策本部を復興対策本部へ移行
 - 仮設住宅6団地全228戸建設完了
 - 11月29日（火）町震災復興計画を策定
 - 平成29年3月21日（火）乙女小学校での授業再開
 - 7月3日（月）甲佐町住まいの復興拠点施設整備に係る公募型プロポーザル2次（公開）審査
 - 12月15日（金）災害公営住宅入居者申し込み開始
 - 平成30年4月10日（火）災害公営住宅白旗団地安全祈願祭
 - 同日（水）同乙女団地安全祈願祭
 - 同日（水）同甲佐団地起工式
 - 9月3日（月）子育て支援住宅安全祈願祭
 - 9月4日（火）（公財）日本サッカー協会との包括協定調印式
 - 平成31年2月1日（金）災害公営住宅乙女団地12戸、白旗団地10戸への入居開始
- お問い合わせ先
町くらし安全推進室
☎096・234・1167
（内線241）